

2023年2月27日

【新刊発売のご案内】

「本能スイッチ」

編：博報堂 ヒット習慣メーカーズ

株式会社博報堂のさまざまな生活者データを活用し、新たな「ヒット習慣」を生み出すことを目的として活動する、博報堂ヒット習慣メーカーズ（以下 ヒット習慣メーカーズ）はこのたび、『本能スイッチ』を出版しましたのでお知らせいたします。

2020年に出版した「カイトイ新書」では、短期的ではなく中長期的なマーケティングを実現させるべく、いかに商品を習慣化させるか？についてのメソッドを紹介しました。今回は、その中でも特に反響のあった「本能スイッチ（※カイトイ新書の中では「触媒」）」にフォーカスを当て、深掘りしていきます。

「本能スイッチ」とは、人間の本能を刺激する一見無駄だけどつつい欲しくなってしまう演出のこと。

なぜ歯磨き粉はミントの味がするの？

なぜエナジードリンクは独特の液色をつけているの？

なぜファストフードのパッケージは赤色と黄色の組み合わせが多いの？

なぜハイボールはジョッキで提供するの？

長く愛され続ける商品やサービスを分析すると、多くの場合、この「本能スイッチ」が巧みに仕込まれていることがわかりました。

デジタルサービスが増える中、いかに顧客体験（CX）を向上させるかが、ビジネス成長のキーポイントになってきました。しかし、効率性、合理性が優先される中、ついやってみたいくなる衝動がおざなりになってしまいがち。そこに課題を感じたヒット習慣メーカーズのメンバーで、人の心を動かす「本能スイッチ」について執筆することになりました。

本書では、私たちが普段の業務を通じて発掘した様々な本能スイッチの具体事例を5つの「型」に分類して紹介していきます。新たなデジタルサービスを生み出そうとしている方、中期的に売れ続ける商品を開発したい方、マーケティング予算が少なく商品そのものを強くしたい方、人々が熱狂するコンテンツを制作したい方のヒントとなるような、「つい」クセになるポイントが満載です。



「本能スイッチ」

編：博報堂ヒット習慣メーカーズ

仕様：四六判変型 232 ページ

定価：1,980 円（税込）

発行：イーストプレス

発売日：2023 年 2 月 25 日

Amazonリンク：<https://amzn.asia/d/gRwPFEO>

目次

はじめに

第一章 本能スイッチとは？

第二章 ミント型

第三章 コンフォート型

第四章 ダム型

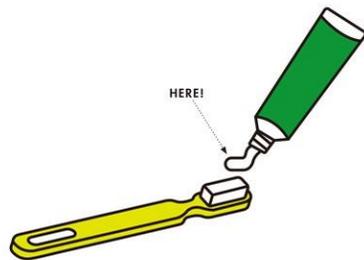
第五章 アナログ化型

第六章 セレモニー型

第七章 ケーススタディ

おわりに

？ 歯磨き粉の
本能スイッチな一た？



！ 磨くたびに口全体に広がる
「ミントのスースー感」

20

歯 磨き粉をつけて歯磨きをする。老若男女問わず誰もが毎日行っている習慣のひとつです。歯磨き粉は昔からありましたが、最初はあまり使われていませんでした。多くの人が、歯磨き粉があるにもかかわらず、水で濡らしただけの歯ブラシで歯磨きを済ませてしまっていました。なぜなら、歯磨き粉をつけて磨いても何の変化も実感できず、ただの無駄なひと手間のように感じられたからです。そんなあるとき、ペブソデントという歯磨き粉が登場したのをきっかけに、歯磨き粉をつけるという行為が定着していったのです。なぜ、ペブソデントが成功したのでしょうか？ それまでの歯磨き粉は、歯を健康に保つ成分が入っていても、効果がす

くにはわからないため、わざわざ使い続ける意味を実感しにくいものでした。そんな中、味付けとしてミントを入れたペブソデントが発売されました。現代の歯磨き粉のように、使うたびに口全体にスースーとした爽快感を得られる歯磨き粉が誕生したのです。ミントそのものに洗浄力はないものの、そのスースー感が「歯がきれいになった！」と感じさせてくれます。一度歯磨き粉をつけて磨くだけでも効果実感を得られるようになったことで、使い続けてみようという気持ちになり、習慣化したというわけです。これが、今回の5類型の中のミント型という名前の由来になった本能スイッチの代表事例です。



ヒット習慣メーカーズは、持続的なマーケティングが求められる時代の中で、何度も買いたくなる「仕組み」づくりをしたいという想いと、多様な専門性を持ったメンバーが揃った組織横断型のチーム。習慣として定着している商品やサービスを分析することでヒット習慣を生み出すメカニズムを研究しつつ、それを武器に、企業とプロジェクトを組み、具体的な商品やサービスの開発、それを広げるコミュニケーションの実施までを、ワンチームで行っている。2020年4月に習慣化メソッドをまとめた「カイトイ新書」を刊行。

※新しい習慣の兆しを発信するコラム「ヒット習慣予報」も併せてご覧ください。

<https://www.hakuhodo.co.jp/magazine/series/hit-shukan/>